

「郵政歴史文化研究会」活動概要

郵政歴史文化研究会は平成20年に発足した「郵政博物館の収蔵資料を活用した郵政の歴史・文化に関する研究会」で、郵政博物館内外の研究者を主体として以下のとおり活動している。

座長 杉山 伸也（慶應義塾大学名誉教授）

顧問 石井 寛治（東京大学名誉教授）

山本 光正（交通史学会元会長）

第1分科会「第二次大戦以前における郵便局の経営史」

主査 巻島 隆（桐生市史編集委員会近世部会専門委員、伊勢崎市史編纂専門委員会近世部会専門委員）

会員 3名

第2分科会「近代日本における郵便と戦争—戦地と銃後のポスタル・コミュニケーション」

主査 新井 勝紘（専修大学文学部元教授）

会員 6名

第3分科会「日本における公的金融の歴史と郵便貯金」

主査 杉浦 勢之（青山学院大学名誉教授）

会員 2名

第4分科会「近代日本における通信と地域社会」

主査 杉山 伸也（慶應義塾大学名誉教授）

会員 3名

第5分科会「郵政博物館所蔵近世交通資料群の研究」

主査 杉山 正司（埼玉県立文書館元館長）

会員 5名

第6分科会「通信事業と近現代美術」

主査 田良島 哲（東京国立博物館特任研究員）

会員 2名

（令和6年3月現在）